

群馬大学医学部統合和漢診療学講座活動報告

助教授 小暮敏明 Toshiaki Kogure
講師(前) 萬谷直樹 Naoki Mantani
助手 伊藤克彦 Katsuhiko Ito
助手 佐藤浩子 Hiroko Sato
秘書 関口みさ子 Misako Sekiguchi

◇研究概要

和漢診療・漢方治療の臨床研究(難治性疾患:リウマチ性疾患やアレルギー・慢性炎症性疾患への臨床応用とその作用機序の解析)のほか,老年医療の疾病マネジメントやプライマリケア分野での臨床研究を多数遂行中である。また,平成15年4月の本学の大学院・社会環境医療学:総合医療学の設置にともない,その協力講座として,生体情報学,医学哲学・倫理学,情報医療学と連携して研究に取り組んでいる。加えてプロジェクト棟の完成によって実験室100㎡が確保され基礎実験を幅広く達成し得るようになってきている。

一本年度文部科学省研究費助成研究一

研究代表者 (小暮敏明)

基盤C RA患者における抗環状シトルリン化ペプチド抗体の臨床的意義一長期予後との関連一

研究分担者 (小暮敏明)

基盤C プエラリアミリフィカのエストロゲン受容体に対する作用と更年期障害に対する代替医療

研究分担者 (小暮敏明) ~9月

基盤C 漢方薬による肝障害の診断根拠としてリンパ球幼弱化試験を用いることの適否について

研究代表者 (萬谷直樹) ~9月

基盤C 漢方薬による肝障害の診断根拠としてリンパ球幼弱化試験を用いることの適否について

◇診療活動

診療は総合診療部(田村遵一教授)と一体化して行っている。外来は月曜日から金曜日までの週5日間,週に延べ10診を開き診療にあたっている。平成14年4月15日に和漢診療を開始した際には,薬剤部の対応や看護師の配置の問題等の院内事情から,宣伝的な活動は控えて,病院内のコンサルテーションから開始するという申しあわせとなっていた。しかしながら診療開始後は院内外からの紹介に加え,受診患者間の紹介が活発となり患者数は増加している。治療法は,漢方薬煎剤を基本として,適宜,医療用漢方エキス製剤と西洋薬を併用している。

症例カンファレンスは週1回行い,東洋医学的

な診断および治療法について検討を行っている。また,総合診療部との合同カンファレンス(週1回)では,東洋,西洋にかかわらず最新のトピックスについて議論している。

◇教育活動

教養教育として1年次に学修原論「かしこく健康に生きる」,学修原論「医学と社会」を行い,医学部専門科目として3年次では,主要症候と病態生理,薬理学,で漢方薬概論と東洋医学の基本的な考え方・診察法を講義している。実習では,医学科1年次の早期体験実習,医学科5年次での臨床実習(ポリクリ),医学科6年次での卒前臨床実習を担当している。また大学院・社会環境医療学:総合医療学の協力講座として大学院生の指導にあたっている。

◇著書

- 1) 小暮敏明:咽頭痛・声がれの影に“口乾”を疑う。漢方診療二頁の秘訣,金原出版:204-205,2004
- 2) 萬谷直樹:加味逍遥散の比較的新しい使い方について。漢方診療二頁の秘訣,金原出版:246-247,2004

◇総説

- 1) 小暮敏明:和漢診療学一複雑系の科学の医療への応用一 北関東医学 2004;54:27-28
- 2) 小暮敏明:漢方薬による肝障害。消化器科,2004;38:224-227
- 3) 小暮敏明:各科における呉茱萸湯の応用 疼痛性疾患への応用 漢方と最新治療 13:261-263
- 4) 萬谷直樹,小暮敏明,田村遵一:薬物性肝障害の診断基準の作成における問題について。肝臓 2004;45:332-336。

◇原著

- 1) Kogure T, Sato N, Tahara E, Sakai S, Shimada Y, Ochiai H, Origasa H, Terasawa K.: Assessment of effects of traditional herbal medicines on elderly patients with weakness using a self-controlled trial. Geriatrics and gerontology International, 2004, 4, 169-174
- 2) Kainuma M, Sakai S, Sekiya N, Mantani N, Ogata N, Shimada Y, Terasawa K.: The effects of a herbal medicine (Mao-to) in patients with chronic hepatitis C after injection of IFN-beta. Phytomedicine

- 2004; 11: 5-10.
- 3) Sakamoto H, Sakamaki T, Sumino H, Sawada Y, Sato H, Sato M, Fujita K, Kanda T, Tamura J, Kurabayashi M. : Production of endothelin-1 and big endothelin-1 by human cardiac myxoma cells. *Circ J.* 2004 68:1230-2.
 - 4) Oyama Y, Kawai-Kowase K, Sekiguchi K, Sato M, Sato H, Yamazaki M, Ohyama Y, Aihara Y, Iso T, Okamoto E, Nagai R, Kurabayashi M : Homeobox protein Hex facilitates serum responsive factor-mediated activation of the SM22alpha gene transcription in embryonic fibroblasts. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2004 24:1602-7.
 - 5) Kawai-Kowase K, Sato H, Oyama Y, Kanai H, Sato M, Doi H, Kurabayashi M. : Basic fibroblast growth factor antagonizes transforming growth factor-beta1-induced smooth muscle gene expression through extracellular signal-regulated kinase 1/2 signaling pathway activation. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2004 24:1384-90.
 - 6) Sakamoto H, Sakamaki T, Kanda T, Tsuchiya Y, Sato M, Sato H, Oyama Y, Sawada Y, Tamura J, Nagai R, Kurabayashi M. : Vascular endothelial growth factor is an autocrine growth factor for cardiac myxoma cells. *Circ J.* 2004 68: 488-93.
 - 7) Sato M, Tanaka T, Maemura K, Uchiyama T, Sato H, Maeno T, Suga T, Iso T, Ohyama Y, Arai M, Tamura J, Sakamoto H, Nagai R, Kurabayashi M. : The PAI-1 gene as a direct target of endothelial PAS domain protein-1 in adenocarcinoma A549 cells. *Am J Respir Cell Mol Biol.* 2004 31: 209-15
 - 8) Goto H, Shimada Y, Sekiya N, Yang Q, Kogure T, Mantani N, Hikiami H, Shibahara N, Terasawa K. : Effects of Keishi-bukuryo-gan on vascular function and hemorheological factors in spontaneously diabetic (WBN/kob) rats. *Phytomedicine.* 2004 Feb;11:188-95.
 - 9) Shinya Sakai, Hiroshi Ochiai, Naoki Mantani, Toshiaki Kogure, Yutaka Shimada and Katsutoshi Terasawa : The Gene Expression in Early phase of Murine Influenza pneumonia Determined by cDNA Expression Array Technique. *Journal of Applied Research in Veterinary Medicine* 2004; 2: 46-51.
 - 10) Sekiya N, Shimada Y, Niizawa A, Kogure T, Mantani N, Sakai S, Hikiami H, Terasawa K. : Suppressive effects of *Stephania tetrandra* on the neutrophil function in patients with rheumatoid arthritis. *Phytother Res.* 2004; 18: 247-9.
 - 11) Naoki Mantani, Kouhei Minami, Michio Tanaka, Toshiaki Kogure, Jun'ichi Tamura, Yutaka Shimada, Katsutoshi Terasawa. : Differences in endoscopic views during biopsy through the right and left lower biopsy channels of the upper GI endoscope. *Digestive Endoscopy* 2004 ; 16 : 204-207.
 - 12) 萬谷直樹, 小暮敏明, 貝沼茂三郎, 嶋田豊, 寺澤捷年 : 漢方薬による肝障害に対する薬物性肝障害診断基準の感度と特異度. *肝臓* 2004; 45: 345-349
 - 13) 萬谷直樹, 小暮敏明 : 東西医学における機能性慢性便秘の記載の比較. *日本東洋医学雑誌* 2004 ; 55 : 271-275
 - 14) 萬谷直樹, 星野綾美, 伊藤克彦, 小暮敏明, 森平和明, 坂本浩之助, 田村遵一 : 高齢患者における尿 pH 血清尿酸との膿尿に関する仮説. *日本老年医学会雑誌* 2004;41:542-545
- ◇症例報告
- 1) Hoshino A, Kawada E, Ukita T, Itoh K, Sakamoto H, Fujita K, Mantani N, Kogure T, Tamura J. : Usefulness of FDG-PET to diagnose intravascular lymphomatosis presenting as fever of unknown origin. *Am J Hematol.* 2004 ; 76: 236-9.
 - 2) 星野綾美, 小暮敏明, 伊藤克彦, 萬谷直樹, 田村遵一 : 遷延化した帯状疱疹後神経痛に鳥薬順気散料が奏効した一例. *日本東洋医学会雑誌* 2004 55 : 649-653
- ◇学会発表
- 1) Ishida J, Ishida K, Maeda M, Kogure T, Mantani N, Tamura J, Kanda K : Analysis of what cancer patients hope to get from traditional Japanese-oriental medicine. 13th International Conference on Cancer Nursing 2004, Aug. Sydney
 - 2) 星野綾美, 佐藤真人, 川田悦夫, 坂本浩之助, 澤田芳枝, 伊藤克彦, 萬谷直樹, 小暮敏明, 藤田欣一, 田村遵一 : 総合診療外来を受診した患者の体温と CRP の関連性. 第 12 回日本総合診療医学会学術大会, 2 月, 川崎
 - 3) 佐藤真人, 坂本浩之助, 川田悦夫, 星野綾美, 藤田欣一, 田村遵一, 澤田芳枝, 伊藤克彦, 萬谷直樹, 小暮敏明 : 睡眠時無呼吸症候群の診療における総合診療外来の役割. 第 12 回日本総合診療医学会学術大会, 2 月, 川崎

- 4) 萬谷直樹, 伊藤克彦, 小暮敏明, 浮田敏幸, 星野綾美, 川田悦夫, 坂本浩之助, 藤田欣一, 田村遵一: 代表的医薬品集における後発医薬品名の記載状況: 医師の側からみた問題点. 第12回日本総合診療医学会学術大会, 2月, 川崎
- 5) 伊藤克彦, 萬谷直樹, 小暮敏明, 星野綾美, 佐藤真人, 川田悦夫, 坂本浩之助, 藤田欣一, 田村遵一, 澤田芳枝: 第12回日本総合診療医学会学術大会, 2月, 川崎
- 6) 小暮敏明, 萬谷直樹, 田村遵一: 和漢薬治療を併用した Wegener 肉芽腫症の一例. 第48回日本リウマチ学会学術集会, 4月, 岡山
- 7) 萬谷直樹, 南康平, 田中三千雄, 井上博喜, 小尾龍右, 嶋田豊, 藤田欣一, 小暮敏明: 直視型内視鏡で胃後壁病変を生検する場合の内視鏡的視野は鉗子孔の位置によって異なる. 第67回日本消化器内視鏡学会総会, 5月, 京都
- 8) 星野綾美, 小暮敏明, 伊藤克彦, 萬谷直樹, 田村遵一: 毛嚢炎様皮疹と再発性口腔内アフタ性潰瘍に対して柴陥湯が奏効したペーチェット病疑診の一例. 第55回日本東洋医学会学術総会, 6月, 横浜
- 9) 伊藤克彦, 小暮敏明, 星野綾美, 萬谷直樹, 田村遵一: 乳癌摘出術後, 化学療法継続中に発症した更年期様症状に対し, 女神散が奏効した一例. 第55回日本東洋医学会学術総会, 6月, 横浜
- 10) 萬谷直樹, 伊藤克彦, 小暮敏明, 酒井伸也, 嶋田豊, 寺澤捷年, 星野綾美, 田村遵一: リンパ球幼若化試験偽陽性を示す生薬についての臨床的経験. 第55回日本東洋医学会学術総会, 6月, 横浜
- 11) 藤永 洋, 高橋宏三, 小暮敏明, 嶋田 豊, 寺澤捷年: MTX 投与中に肺結核を発症した関節リウマチに和漢薬治療が奏効した一例. 第55回日本東洋医学会学術総会, 2004, 6, 横浜
- 12) 小暮敏明: シンポジウム・自然治癒力を考える 漢方薬の免疫調節作用からみた検討 第21回和漢医薬学会大会, 8月, 富山
- 13) 萬谷直樹, 伊藤克彦, 小暮敏明, 田村遵一, 嶋田豊, 寺澤捷年: 漢方薬再投与試験の臨床像について. 第21回和漢医薬学会大会, 8月, 富山
- 14) 小暮敏明: シンポジウム・漢方薬とフリーラジカル 粉防已の関節リウマチに対する臨床効果とその作用機序 第61回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会 つくば 11月
- 15) 伊藤克彦, 小暮敏明, 星野綾美, 萬谷直樹, 田村遵一: 荊芥連翹湯(一貫堂)が奏効した

難治性の自家感作性皮膚炎の一例 第61回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会 つくば 11月

- 16) 伊藤克彦, 小暮敏明, 佐藤浩子, 星野綾美, 田村遵一: 二陳湯合半夏厚朴湯が奏効した難治性慢性咳嗽の一例 2004年度日本東洋医学会関東甲信越支部群馬県部会 前橋 11月
- 17) 星野綾美, 佐藤浩子, 伊藤克彦, 小暮敏明, 田村遵一: 頻発月経のホルモン療法中に増強した頭痛と体重減少を伴う消化器症状に女神散が奏効した一例 2004年度日本東洋医学会関東甲信越支部群馬県部会 前橋 11月

◇その他

- 1) 小暮敏明: 漢方治療の実際～主要症候を中心に～ 伊勢崎佐波医師会, 3月
- 2) 小暮敏明: 漢方治療の基礎 一主要症候に対する対応一 邑楽館林医師会 3月
- 3) 小暮敏明: 和漢診療からみた疼痛性疾患の治療 利根沼田医師会 4月
- 4) 小暮敏明, 萬谷直樹: 漢方入門セミナーin群馬 前橋 3月
- 5) 萬谷直樹: 第15回高崎漢方研究会, 高崎 6月
- 6) 小暮敏明: 漢方入門講座 IN 神戸 神戸 7月
- 7) 小暮敏明: 東海地区漢方医学セミナー 名古屋 7月
- 8) 小暮敏明: 漢方薬とうまくつきあう方法 薬と健康フェア: 群馬県業務課主催 8月 前橋
- 9) 萬谷直樹: 漢方薬の副作用とその診断をめぐる問題について, 日本病院薬剤師会 関東ブロック第34回学術大会ランチョンセミナー 筑波 8月
- 10) 小暮敏明: 信州上田漢方入門セミナー 上田 10月
- 11) 小暮敏明: 座談会 大学病院総合診療部と漢方一総合診療に漢方をどう生かすかー 漢方医学 2004 24 152-161
- 12) 小暮敏明: 漢方薬の効用 上毛新聞 10月 16日
- 13) 星野綾美, 佐藤真人, 川田悦夫, 坂本浩之助, 藤田欣一, 田村遵一, 伊藤克彦, 萬谷直樹, 小暮敏明, 澤田芳枝: 群大病院総合診療部外来患者の最近3年間の推移と動向(2000年度～2002年度) 群馬医学 2004; 80: 99-102
- 14) 萬谷直樹: 痛みに対する漢方療法. 高崎医学 2004; 54: 21-23
- 15) 小暮敏明: 遠隔健康教室 群馬大学附属病院(前橋) ⇄ 嬭恋村・上野村 漢方薬とうまく

つきあう方法 7月

- 16) 小暮敏明：遠隔健康教室 群馬大学附属病院
(前橋) ⇨ 嬭恋村・上野村 糖尿病性神経障
害 9月